

F.J.ハイドン(1732~1809)作曲「十字架上のキリストの最後の7つの言葉」 Hob.III/50~56について

この曲は1786年、ハイドンが54歳の頃にスペインの港町カディスにある大聖堂の司祭、サンタマリアのホセ・サルズ博士より依頼され書き上げられた作品です。カディスのサント・ロザリオ教区教会の地下には、サンタ・クエーヴァと呼ばれる祈祷室があり、ここに敬虔な信者が集まり、「心霊修業」が行われていました。そこでは、十字架に磔にされたキリストの最後の7つの言葉を唱えることが修行の中心を占めていて、ハイドンに依頼したこの作品は、司祭がその7つの言葉の一つずつ唱えて詠くとそれにあわせて演奏されることを想定していました。

重々しい序奏ではじまり、それに続いてソナタ形式の7つの音楽が続きます。もちろん、この7つの音楽は、それぞれキリストの「最後の7つの言葉」に対応します。そして、終曲はキリストが息絶えたときに起こった地震のシーンを描写した音楽で閉じられるという構造を持っています。

ハイドン自身が「音楽をはじめて聞くものにも、深い感銘を与えずにはおかない」と自信をもって発表したこの曲は、当初オーケストラ用の作品として発表されました。そして翌年には自らの手で弦楽四重奏に編曲、後年にはピアノ版、オラトリオ版も出版されたことから、ハイドンがこの曲にひととき深い愛着を持っていたことがわかります。

1. 序奏 L' Introduzione -Maestoso ed Adagio- 二短調

2. 第1ソナタ -Largo- 変ロ長調

「父よ、彼らをお赦し下さい。彼らは何をしているのか知らないのです。」

“Pater, dimitte illis; non enim sciunt, quid faciunt” (ルカ23:34)

3. 第2ソナタ -Grave e cantabile- 八短調

「今日あなたは私とともに天国にいるであろう。」

“Amen dicotibi: hodie tecum eris in paradiso” (ルカ23:43)

4. 第3ソナタ -Grave- ホ長調

「婦人よ、これがあなたの子だ。弟子たちよ、これがあなたの母だ。」

“Mulier, ecce filius tuus, et tu, ecce mater tua!” (ヨハネ19:26-27)

5. 第4ソナタ -Largo- ヘ短調

「神よ、神よ、なぜ私を見捨てられたのですか。」

“Eli, Eli, lama asabthani?” (マタイ27:46) (マルコ15:34)

6. 第5ソナタ -Adagio- イ長調

「私は渇く。」 Sitio” (ヨハネ19:28)

7. 第6ソナタ -Lento- ト短調

「すべては成し遂げられた。」 Consumatum est” (ヨハネ19:30)

8. 第7ソナタ -Largo- 変ホ長調

「父よ、わたしの霊を御手にゆだねます。」

“Pater, tuas manus commendo spiritum meum” (ルカ23:46)

9. 地震 Il Terremoto -Presto con tutta la forza- 八短調

カトリック吉祥寺教会
〒180-0005 武蔵野市御殿山1-7-8
JR中央線・京王井の頭線吉祥寺駅南口
駅ビルロンロン出口より徒歩6分



原田 陽 ヴァイオリン

1982年東京生まれ6歳でヴァイオリンを始める。91年、イタリアの「プレミオ・モーツァルト・コンクール」に招待され最年少優秀賞を受賞。94年より97年までニューヨークジュリアード音楽院より奨学金を受け、ドロシー・ディレイ女史のもとで研鑽を積む。99年に当時最年少でパリ国立高等音楽院大学院課程に入り、レジス・バスキエに師事。2005年、フランス サン・リジエ音楽祭に日本人ヴァイオリニストとして初めて招待される。武生国際音楽祭フェスティバルオーケストラにゲストコンサートマスターとして招待され、ハンス＝マルティン・シュナイト指揮、ベートーヴェン・莊嚴ミサ曲を共演。巨匠ピアニスト/イエルク・デームスとは2003年以降毎年日本およびヨーロッパ各地にて共演しており、好評を博している。http://little-ct.com/

中川 直子 ヴァイオリン

第50回全日本学生音楽コンクール中学校の部福岡大会第一位。東京音楽大学付属高等学校に特待生として入学。第22回響島国際音楽祭にて優秀演奏賞、特別奨励賞を受賞。ハノーヴ・アー音楽大学サマーフェスティバルに出演。東京音楽大学を首席で卒業。NTTドコモより奨学金を授与される。読売新人演奏会出演。第74回日本音楽コンクール入選。2006年別府アルグリッチ音楽祭オーケストラに参加し、コンサートマスターを務める。2007年東京音楽大学大学院修士課程を修了。これまでに松村昌明、藤崎永育、山岡耕弥、小林武史、大谷康子、海野義徳の各氏に師事。現在、東京音楽大学付属高等学校非常勤講師。

村松 龍 ヴィオラ

6歳よりヴァイオリンを始める。1995年全日本学生音楽コンクール東京大会小学生の部2位。02年大阪国際コンクール1、2位なしの3位。06、07年若い人のサイトウキネン室内楽勉強会参加。07年ヴィオラに転科。2007年小澤征爾音楽塾オペラプロジェクト歌劇「カルメン」参加。NHK交響楽団アカデミー生。これまでにヴァイオリンを井上裕興、清水高師、久保陽子の各氏に、ヴィオラを店村眞樹、河合潤子の各氏に師事。現在、東京音楽大学4年在学中。

重松恵子 チェロ

東京芸術大学卒業、及び同大学院修了。KOBÉ国際学生音楽コンクール優秀賞、併せて兵庫県教育長賞を受賞。日演連推薦新人演奏会に出演。九州交響楽団と共演。学内モーニングコンサートで芸大オーケストラと共演。霧島国際音楽祭にて特別奨励賞、併せてサントリー賞を受賞。これまでにチェロを、故・井上頼章、河野文昭、菊地知也の各氏に師事。トウキョウ・モーツァルト・プレーヤーズメンバー。